

～学校・家庭・地域で通じ合う心～

協働通心

令和2年度

第4号

発行元

草津市教育委員会

生涯学習課



秋風が心地よい季節となりましたね。市内小中学校では、スポーツの秋、文化・芸術の秋ということで、コロナ禍においても創意工夫を凝らしながら運動会や体育祭、合唱コンクール等の行事が実施されています。今回は中学校での地域協働活動における若者の関わりをご紹介します。

玉川中学校【合唱指導】

立命館大学生が、合唱の技術指導とあわせて合唱コンクールをイベントとして楽しむ方法等、「中学生の身近な存在」であることを活かした活動をしてくださいました。初めは異年齢や人数の多さに戸惑いつつも、誰が聞いてもわかるよう、言葉を選びながら、「大きな声を出すことの楽しさ」や「みんなで合わせることの楽しさ」を伝えていました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため大学の授業がオンラインとなり、現在も地元へ帰省中の学生も多く、参加されたのは4名にとどまりましたが、生徒たちにとっては専門的な指導が音楽の時間以外にも受けられ、またキャリア教育にもつながることから、こうした大学生の活動が多くの中学校に広がっていくよう、情報の共有に努めたいと思います。



松原中学校【ソフトテニス指導】



中学校における部活指導も地域協働校の重要な事業です。松原中学校ソフトテニス部には、20歳の青年が、先輩からの紹介で技術指導のために力を貸してくださっています。ご本人は自身の経験が生かせることを、学校は生徒の技術向上が図れることを、互いに喜んでおられます。



地域には、様々な特技や、趣味を持っている方がたくさんいらっしゃいます。今後も学校・地域・家庭が連携し、「“ALL 草津”で子どもを育てる」という本市の方針の実現のため、より多くの方に地域協働校へ参加いただけるよう、様々な情報を発信していきたいと思います。

「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」の実現を目指します